

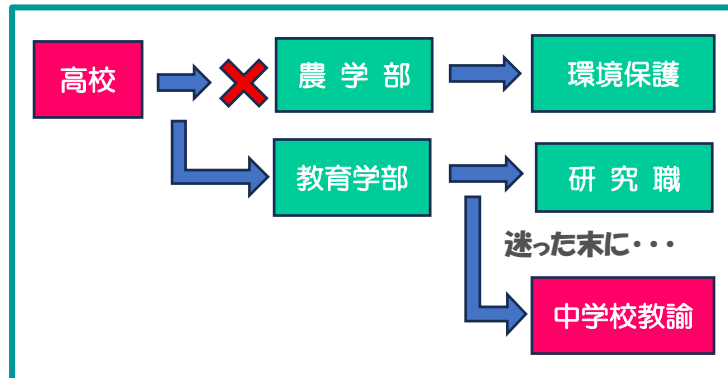
残りあと2ヶ月です



三学期が始まって、あっという間に2月になってしまいました。残り2ヶ月、3年生は最後の頑張りどころ、2年生はスキー教室とまちづくり夢フォーラム、1年生はこの一年の総まとめ。それぞれ日々を大切にすごしましょう。

人が輝くのは・・・ どこにいるかではなく そこで何をするかだよ

先日、町P連の研修会で、共愛学園前橋国際大学学長の
大森昭夫さんのお話を聴いてきました。とても共感したので、今回はその話をもとにして自分の考えを伝えます。



上の図は自分が教員になるまでのフローチャートです。

高校生時代に思い描いていた未来予想図とは全然違う人生を歩むことになりました。大学入試では大きな挫折を味わいました。でも、そのことで人生が不幸になったかというとその逆で、幸せいっぱい的人生を楽しんでいます。

何が言いたいかというと、**高校や大学に入っただけではその先の人生は決まらない**ということです。**そこで何をするのか**ってことが重要なのです。これまでも何度か言っていますね。自分は大学では勉強もそこそこやりましたがしっかり遊びました。そして、たくさんの失敗もしました。そのすべての経験が今の自分を形づくっているのです。

みんなはどんな人生を送るのでしょうか？楽しみです。

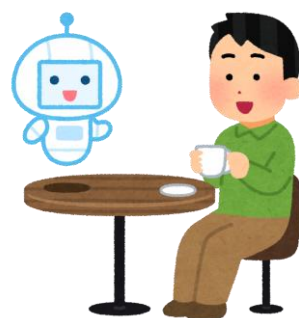
日	曜	行事・その他
1	日	
2	月	安全点検日
3	火	
4	水	3 年期末テスト① 1・2 年 CRT テスト
5	木	3 年期末テスト②
6	金	3 年期末テスト③ いじめ防止子ども会議
7	土	
8	日	
9	月	2 年スキー教室①
10	火	2 年スキー教室②
11	水	【建国記念の日】
12	木	
13	金	PTA 本部役員会
14	土	
15	日	
16	月	職員会議
17	火	
18	水	
19	木	公立高校本検査①
20	金	公立高校本検査②
21	土	
22	日	
23	月	【天皇誕生日】
24	火	1・2 年期末テスト①
25	水	1・2 年期末テスト②
26	木	公立高校追検査 1・2 年期末テスト③
27	金	まちづくり夢フォーラム
28	土	

AIと共に生きるって？

これからは予測困難な時代になるという言葉をよく耳にします。なぜでしょうか？

ちょっと前までは、GUやユニクロのレジには店員さんがいましたが、今はいなくなりました。スーパーのセルフレジやセルフのガソリンスタンドも増えてきました。アメリカのシアトルには、Amazonの実店舗があり、棚から商品を取ってゲートを通過すると自動的に精算されるシステムになっているため、レジ打ちどころか他の店員もいないそうです（商品を他の人のポケットに入れても、棚から商品を取った人を認識するとのこと）。同じシアトルではUberが人を運んでくれるため、タクシーが街から消えてしまったそうです。AIの発達により、もうすでにいくつかの職業はなくなっているのです。そしてこれから先、さらに多くの職業がなくなるだろうと言われています。これは知識では人間はAIには勝てないからだと言われています。ChatGPTやGeminiなどの生成AIを使うと、指示しただけで、これまで人間が何時間もかけてやってきたことを一瞬でやってくれます。アメリカでは知識を身につける必要がないなら知識を得るために大学に行く必要がないと考える人が増えて大学進学率が低下したり、ホワイトカラー（頭脳労働者）よりもブルーカラー（肉体労働者）の方が年収が高くなる傾向が現れたりしているそうです。

では、私たち人間はどんな力をつけていったらよいのでしょうか。知識ではAIにはかないません。でも、AIは新しいものを生み出しません。過去の知識を総動員して提案しているだけなのです。新しいものを生み出すことができるのが人間の強みです。だとすれば、私たちは何が問題なのかを考え、その問題を解決するためにはどうしたらよいかを考えて、実行すればよいのではないのでしょうか。そして、その時にAIに手伝ってもらえばいいのです。



このような時代にどんな力が必要なのか

文部科学省が提示している「学習指導要領」（学校の授業は、これに則って行っています）では、中学生が身につける学力の3要素として、「**知識・技能**」「**思考力・判断力・表現力**」「**主体的に学習に取り組む態度**」を示しています。

「**知識・技能**」すべての学力の基盤となるもので、これをもとに以下の2つの力を伸ばします。

「**思考力・判断力・表現力**」知識・技能を活用して自ら課題を発見し、解決するために必要な能力。

「**主体的に学習に取り組む態度**」学びに向かう力。自分で考えて、自分で決めて、自分で行動する。

みんなが人生をどうデザインしていくのか、それを決めるのは他でもないみんな自身です。私たちは日々の生活や学びを通して自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらもよりよい自分と幸せを求めて生きていきます。私たちは自分の人生の主人公なのです。

今の新卒の子たちは、最初の就職先を「ファーストキャリア」として、社会人としての経験を積む場と捉えています。一つの職場で定年まで勤め上げるのではなくて、経験を積んでキャリアアップしていくことを考えているようです。前述したように、最初に就いた職業が数十年後には無くなっていることだって考えられます。逆に就職した職種が自分に向いていなければ、途中で方向転換することもありなのです。言い方を変えれば、失敗してもやり直しがきくということでもあります。人生は、成功も失敗も成長のための大きな糧になります。どんな道を歩んだとしても、最終的に「幸せな人生」というゴールを目指していければいいのだと思います。（文責：山口）